

令和元年度 阿倍野区運営方針(自己評価)の概要

経営課題1【誰もが安全・安心して暮らせるまち】					
具体的取組		取組の概要	取組実績（新型コロナウイルス感染症の影響等により一部中止しています）	業績目標の達成状況	
1-1-1	区防災事業(地域防災力の向上)	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に備え、日頃の備えや「自助(自身、家族)」、「共助(近所、地域)」の大切さ、「各地区防災計画」や、災害時の避難場所(一時集合場所、一時避難場所、災害時避難所等)など区民一人ひとりの災害に対する知識やスキルの習得及び防災力のさらなる向上を図ります。 ・地域の災害時対応のスキルの向上や地域コミュニティの醸成を図ります。 ・日中の災害を想定し、中学生等の若年者層への意識啓発や災害に関する知識やスキルの習得を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区のホームページや区広報紙等で周知:年46回 ・まちなか防災訓練・防災研修会・防災関係会議参加者への啓発:9,104人 ・避難所開設運営マニュアルを活用した実践的な避難所開設・運営訓練を実施:4地域 ・地域の自主防災組織が実施する「まちなか防災訓練」等の地域の取組みを支援:8地域 ・複数地域や他区の地域と連携・協働で行われる防災の取組みを支援:5地域 ・災害時に防災活動の中核となる地域防災リーダーの防災活動に必要な訓練や研修の実施:参加者延べ161人 ・区内の小・中学校で防災教育等(防災研修および訓練)を実施:12校 ・防災ジュニアリーダー制度を安定的、継続的に存続し、自主防災組織の新たな担い手となる人材の発掘を行うとともに、災害活動に必要な訓練や研修の実施:登録者数:37人、参加者数:12人 	災害時の避難場所を知っている区民の割合	80.3% (目標:60%以上)
				避難開設運営訓練により役割等が理解できた避難所開設運営役員の割合	91.4% (目標:70%以上)
				地域防災リーダー訓練により災害時に役立つスキルが身についた地域防災リーダーの割合	100% (目標:70%以上)
				防災教育を受けた生徒のうち、「地震に対する日ごろの備えが必要だ」と思った割合	99.5% (目標:80%以上)
1-2-1	安全なまちづくり推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車用ひたくり防止カバーの取付及び自転車盗難防止ワイヤー錠の配付を行う防犯キャンペーン活動、ナンバープレート盗難防止ネジ取付キャンペーン活動を実施します。 ・区内市立小学校(10校)の新1年生全員に防犯ブザーを配付します。 ・区役所「地域みまもり隊」職員により、通学路巡回・防犯パトロールを行います。 ・警察と連携して防犯カメラを設置(公設置・地域管理)します。 ・イベント等において「こども110番の家」の啓発及び協力家庭等の募集を行います。 ・「こども110番の家」の子ども自身への周知啓発の取組みとして、小学校入学説明会等での子ども向け啓発チラシを配付します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車用ひたくり防止カバー取付及びワイヤー錠配付を行う防犯キャンペーン活動【15回】 ・ナンバープレート盗難防止ネジ取付活動の実施【4回】 ・企業と連携した区内小学校新1年生への防犯ブザー配付(4月) ・区役所「地域みまもり隊」職員による通学路巡回・防犯パトロール(平日毎日) ・防犯カメラ(公設置・地域管理)を設置(5台) ・イベントで「こども110番の家」の啓発及び協力家庭等募集【3回】 ・「こども110番の家」子ども向け啓発チラシを入学説明会で配付【10回】 	区役所が警察等と連携して行う防犯啓発活動等の取組みが、区内の街頭犯罪抑止に役立っていると感じる区民の割合	86.6% (目標:60%以上)
1-2-2	交通安全運動の推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・全国交通安全運動期間に「交通事故をなくす運動」阿倍野区推進本部による推進大会(街頭啓発等)を実施します。 ・阿倍野区身体障害者団体協議会との街頭啓発活動を実施します。 ・幼稚園児等を対象とした交通安全教室、小学校児童を対象とした交通安全教室を実施します。 ・地域住民および学校園を対象に交通安全出前講座を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「交通事故をなくす運動」阿倍野区推進本部による推進大会【2回】 ・阿倍野区身体障害者団体協議会と協働した街頭啓発活動【2回】 ・幼稚園児等を対象とした交通安全教室【24回】 ・小学校児童を対象とした交通安全教室【10回】 ・広く区民を対象とした交通安全行事【1回】 	区役所が警察等と連携して実施する交通安全教育等の取組みにより、区民の交通ルール・マナーに関する意識及び理解が向上したと感じる区民の割合	88.2% (目標:60%以上)

経営課題2【高い教育力を持ち、子ども・青少年を健やかに育むまち】

具体的取組		取組の概要	取組実績	業績目標の達成状況	
2-1-1	グローバル人材育成支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ネイティブスピーカーとのふれあいにより、授業では体験の少ない英語に触れる場を提供することにより、語学力の向上及び異文化への理解を促進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語コミュニケーションスペースの開設:6回 ・小学生を対象とした英語講座等の実施:22回 ・中学生英語スピーチコンテストの開催:1回 ・小学生英語発表会の開催:1回 	「英語に対する子どものチャレンジがサポートされていると感じる、事業に参加した児童・生徒の保護者の割合	95.7% (目標:60%以上)
2-1-2	学校園支援(学校支援ボランティア人材募集、教員サポート講習会等)	<ul style="list-style-type: none"> ・区教育行政連絡会等でくみ取った意見を受け、学校支援などを行うボランティアの募集を行い、各学校へ紹介する学校支援ボランティア人材募集事業を実施します。 ・各教員が自校園の課題解決に主体的に取り組むことを支援するため、学校ごとの個別・地域課題に応じてテーマを決定したうえで、講習会を開催し、外部の専門家等を講師に招いて技術・知識の習得等を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・9小学校、3中学校から計39の人材募集のエントリーがあり、広報掲示板やホームページ等で周知し募集を行った。 ・計63名が人材バンクに登録し、その都度学校へ紹介を行っている。学校との面接を経て、ボランティア従事が決まった登録者は延べ15名。 ・教員サポート講習会を8校10回開催した。 	特色ある学校の取組みを進めていくうえで、学校支援ボランティア人材募集が役立っていると回答する学校の割合	93.3% (目標:80%以上)
				特色ある学校の取組みを進めていくうえで、教員サポート講習会が各校の個別・地域課題の解決に役立っていると回答する学校の割合	100% (目標:80%以上)
2-1-4	民間事業者を活用した課外学習支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・区内在学の中学生を対象に、放課後の学校施設等に、民間事業者を活用した課外学習の場を設置し、子どもの習熟に応じた学力向上及び学習習慣の形成を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度に引き続き、4月から区内2か所(松虫中学校及び文の里中学校)において、民間事業者を活用した課外学習支援事業を実施しました。 ・松虫中学校教室 : 最大24名受講(定員30名) ・文の里中学校教室 : 最大44名受講(定員40名) 	学習した教科について、参加前に比べ、学校の授業がわかるようになったと回答した割合	57.8% (目標:60%以上)
2-1-5	こどもの「生きる力」を育む事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「貧困の連鎖」を断ち切るため、生活困窮世帯等の中学生を対象に学習支援を行い、高校進学に必要な基礎学力を形成するとともに、社会体験・キャリア教育等を提供することで、こどもの「生きる力」を育み、将来における一人ひとりの社会的・職業的自立を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度に引き続き、4月から区内において、こどもの「生きる力」を育む事業を実施しました。 ・学習支援:毎週火・木曜日18:30~20:30実施、32名参加登録[定員25名程度] ・社会体験・キャリア教育:2ヶ月に1回程度実施(5/30、7/4、10/22、10/31、11/26、12/24、1/9、2/27) 	参加生徒の学力(点数)の向上	5.9% (目標:10%以上)
				参加前に比べ、「授業時間以外の1日あたりの勉強時間が増えた」と回答した生徒の割合	83.9% (目標:60%以上)
2-2-3	不登校児などの相談支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・学校になじめない等の悩みを持つ18歳以下の子どもとその保護者に対する相談業務を行います。 ・区役所内に子どもの居場所を開設しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校との連携による不登校や発達障がいなど専門的な相談や、学校になじめない等の悩みを持つ子どもとその保護者の相談に対応する心理相談員の相談業務:延べ474件 ・居場所の開設:延べ101人 	不安感・負担感の軽減が図られたと回答した相談者等の割合	95.7% (目標:80%以上)

経営課題3【地域で支えあい、誰もが幸せに暮らせるまち】					
具体的取組		取組の概要	取組実績	業績目標の達成状況	
3-1-1	地域による見守り体制の充実	・要援護者の実態把握から地域の福祉課題やニーズの把握を行い、地域自らが見守り体制等を構築し、新たなネットワークづくりができるよう支援します。 また、「あべのオレンジメール」や「あべのあんしんステーション」の取組みにより、認知症高齢者等に対する地域での見守りの広がりを支援していきます。	・要援護者名簿実登録者数: 4,356件(うち新規登録者数646件、転出等による削除数682件) ・見守り訪問ボランティア活動 58,323回 ・認知症サポーターへ向けた研修・講演会等 6回	要援護者本人やその家族等に対するアンケートにおいて「地域などの見守りにより安全・安心を感じるようになった」と感じる方の割合	90% (目標: 70%以上)
3-2-1	区民との協働による阿倍野区健康づくり推進事業	・ウォーキングイベントの開催、企画・運営等を担うサポーターの育成を行います。 ・特定健診、がん検診、骨量検査受診者数の増加を目的とした活動に取り組みます。 ・ICTを活用した大阪府健康マイレージシステムの活用を推進します。	・ウォーキング大会2回(390人) ・あべのちよこつとウォーク6回(679人) ・健康づくり展げる講座7回(76人) ・スキルアップ講座2回(38人) ・ウォーキングマップの窓口設置 ・特定健診・がん検診・アスマイルの広報紙への掲載: 12回 ・各種健康教室での特定健診・がん検診・骨量検査の周知: 30回	ウォーキング大会参加者のうちウォーキング大会が運動の習慣化につながると答えた方の割合	94.8% (目標: 50%以上)

経営課題4【魅力と活力にあふれるまち】					
具体的取組		取組の概要	取組実績	業績目標の達成状況	
4-1-1	人と人のつながりづくりの推進	・豊かなコミュニティづくりの形成を目的に全区民を対象に、地域活動団体、市民活動団体、企業等、区民ボランティアと協働しながら誰もが楽しめる交流の場を提供します。 ・人と人のつながりづくりのための取組みへの支援を行います。	○豊かなコミュニティづくりの形成を目的に全区民を対象に事業を行いました。 【コミュニティ育成事業】 ・あべのカーニバル(区民まつり): 10/14開催 ・あべのスポーツフェスタ(区民体育祭): 11/3開催 ・成人の日記念のつどい: 1/13開催 ・たこあげ大会: 2/11開催 ○人と人のつながりづくりのための取組みの支援を行いました。 ・講師として職員派遣等を地域の代表者で構成する地域連絡会議で周知: 【10回】 ・自治会・町内会の必要性について啓発: 広報紙8回掲載、区ホームページ: 随時	コミュニティ育成事業参加者へアンケート調査を行い、他の参加者や団体と交流できたと感じた割合	90.9% (目標: 80%以上)
4-1-3	新たな地域コミュニティ支援事業	・中間支援組織(まちづくりセンター)を活用した地域活動協議会の自律運営にかかる支援を実施します。特に、若い世代など幅広い市民参画の促進、新たな担い手の発掘や地域における担い手のスキルアップに向けた支援、自主財源の獲得に向けた支援など地域の特色やニーズに合わせた支援を進めます。	○中間支援組織(まちづくりセンター)を活用した地域活動協議会の自律運営にかかる支援の実施を行いました。 ・地活協の認知度向上のための広報サポート: 全地域(10地域)で実施 ・自律運営のための会計サポート: 全地域(10地域)で実施 ・担い手確保の発掘や地域の横のつながり、企業や他団体との連携を目的とした交流の場の提供: 「あべのほっとカフェ」及び、「地活協フォーラム」を全5回開催 ・CB/SB化への働きかけ: 【コミュニティ回収】未実施の8地域へ働きかけた結果1地域で実施、2地域で実施を検討【新たなペットボトル回収】全地域(10地域)へ働きかけた結果2地域で実施を検討	まちづくりセンターは地域活動に役に立っていると感じる利用者の割合	81.7% (目標: 80%以上)
4-2-1	あべの筋の魅力ある街づくり	・あべの筋について、阪堺電車の軌道緑化などの魅力的な景観を活用するとともに、整備の進む東側の歩道についても回遊性を高めるための魅力的な空間形成を行ない、阿倍野を訪れる人に大阪のランドマークとしてアピールします。	・年間を通じて、阪堺軌道上町線軌道敷の芝生維持管理を行いました。 ・まちづくり団体の組織化に向け、地域団体・企業等によるあべの筋清掃活動(2回)や音楽イベント・イルミネーション等(2回)のにぎわいづくり等の取組みへの支援を行いました。 ・令和2年2月1日あべの筋とその周辺地域を路上喫煙禁止地区として指定しました。	阪堺軌道上町線の芝生化や地域によるにぎわい創出の取組みにより「まちが魅力的になった」と思う区民の割合	76.6% (目標: 80%以上)

経営課題5【区民から信頼される区役所づくり】					
具体的取組		取組の概要	取組実績	業績目標の達成状況	
5-1-1	区の広報事業	・区民の必要とする区政情報が、必要なツールで届くよう、情報発信を行います。	・区広報紙の発行①広報紙「広報あべ」発行部数(46,000(11回)66,000(1回))②新聞折込部数(34,140⇒32,235)③新聞未購読世帯への個別配付数(4,243⇒4,457)④世帯配布率(約74%⇒約69%)【31年4月号⇒2年3月号実績】 ・WEBツールの活用①区ホームページアクセス数(58,668)【2年3月実績】②ツイッターフォロワー数(3,973)【2年3月現在】③AR, YouTube動画毎月配信④LINE配信(2年2月から開始) ・広報掲示板ポスター掲示件数月平均約33件【31年4月～2年3月実績】	区政情報を必要とする区民が、必要なツールで情報を入手できていると感じる割合	50.5% (目標: 60%以上)
5-1-2	区の広聴事業	・区民への説明責任を果たしていくとともに、いただいた意見を施策へ反映させることを目的として、区政に関する区民からの意見・アイデア・要望等を常時受け付けます。 ・また、区の施策や事業などについての意見やニーズを把握し、区民の客観的な評価を得るなど、施策立案にかかる基礎データを収集するためにアンケートを実施します。	・窓口対応等にかかる来庁者への調査(評価シート)の実施: 2回(8月、2月) ・「今月の目標」来庁者アンケートの実施: 毎月 ・ご意見箱の設置: 常時 ・区民モニターアンケート調査の実施: 2回(9月、12月)	区役所が、様々な機会を通じて区民の意見やニーズを把握していると感じる区民の割合	44.4% (目標: 50%以上)
5-1-3	区政会議運営事業	・区政におけるさまざまな課題や区政に関する評価などについて意見を述べる仕組みである区政会議を運営します。	・全体会及び各部会の開催: 全体会3回(6/24、9/26、12/4)、部会各2回(7/29、7/30、7/31、8/21、8/22、8/26) ・区政会議運営上の課題把握のためのアンケートを区政会議委員に対して実施しました。(9月) ・区政会議における意見への対応状況について、予算反映状況も含めて明示し、区政会議(12月)において説明しました。	区政会議において、各委員からの意見や要望、評価について、十分に区役所や委員との間で意見交換が行われていると感じている区政会議の委員の割合	58.8% (目標: 76%以上)
5-2-1	区民サービス向上	・職員の実務能力を向上させる取組みを進めます。 ・区民からの意見や評価を把握し改善につなげる取組みを進めます。 ・職員間の情報共有の取組みを進めます。	・職員力向上研修の実施: 年1回 ・窓口対応等にかかる来庁者への調査(評価シート)の実施: 年2回 ・「今月の目標」来庁者アンケートの実施: 毎月 ・庁内情報誌「あべのいちばん」の発行: 2ヶ月に1回	区役所を過去1年間に利用した区民のうち、案内サービスや窓口、電話などの対応が良いと感じた区民の割合	81.7% (目標: 80%以上)
				「区役所来庁者等に対するサービスの格付け結果」において、☆☆(民間の窓口サービスの平均的なレベルを上回るレベル)以上を獲得	☆☆ (目標: ☆☆以上)